

愛媛県佐田岬半島瀬戸内海側から得られたキハツク

清水孝昭¹

¹ 愛媛県農林水産研究所水産研究センター



写真1 *Diploprion bifasciatum* キハツク (TKPM-P 24200)

種の記録

Liopropomatidae ハナスズキ科

Diploprion bifasciatum Cuvier, 1828

キハツク(写真1)

標本 徳島県立博物館魚類標本(TKPM-P) 24200, 標準体長(SL) 131.2mm, 2026年6月17日, 愛媛県西宇和郡伊方町正野 三崎(影の平)漁港外側(33.35551N, 132.02976E), 水深5m, 建網。

種の特徴

体は卵形に近く、側扁する。体高は高く、体長は体高の2.2倍。主上顎骨後下端に下向突起はない。前鰓蓋骨後縁は鋸歯状。下・間鰓蓋骨外縁に小棘が露出する。背鰭棘部の鰭膜に皮褶が発達する。第2背鰭, 臀鰭, 胸鰭, 尾鰭の縁辺は丸みを帯びる。腹鰭先端は糸状に延長する。腹鰭第5軟条と腹部の間に鰭膜がある。背鰭8棘13軟条, 臀鰭2棘12軟条, 胸鰭17軟条, 腹鰭1棘5軟条。生時の体色は淡黄色で、頭長から眼下にかけてと体側中央に暗色横帯がある。第1背鰭は暗色, 腹鰭は暗色味を帯びた淡黄色, 第2背鰭, 臀鰭, 胸鰭および尾鰭は一樣に淡黄色。

備考

採集個体の上記特徴は瀬能(2013)のキハツクに一致するため、本種と同定した。本種はインドー西太平洋域に分布し、日本では佐渡島と相模湾から九州南部にかけての日本海・東シナ海・太平洋沿岸、瀬戸内海、および琉球列島に分布する(笹木ほか, 2025;

本村, 2026)。瀬戸内海では岡山県と兵庫県から記録がある(吉郷, 2018; 増田, 2022)。愛媛県では宇和海側の宇和島市と愛南町沿岸から確認されており(辻・平松, 1987; 家山・西尾, 1994; 高木ほか, 2010), 著者も宇和島湾周辺で漁獲された標本を得ているが(TKPM-P 24188, 114.4mm SL, 2021年9月2日採集), 瀬戸内海側からは記録がなく、本報告は登録標本に基づく初記録である。

謝辞

標本の収集にご助力いただいた阿部博文, 梶原武久の両氏に感謝の意を表する。

引用文献

- 家山博史・西尾知照. 1994. 潜水調査による愛媛県西海町沿岸域の魚類相. 愛媛大学教育学部紀要第III部, 自然科学, 15(1):19–30.
- 増田 修. 2022. 近年確認された播磨灘の珍客たち. 姫路市立水族館だより 山のうへの魚たち, 77:2–4.
- 本村浩之. 2026. 日本産魚類全種目録. これまでに記録された日本産魚類全種の現在の標準和名と学名. Online ver. 39 (<https://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/staff/motomura/jaf.html>, 2026年6月20日参照).
- 笹木大地・武藤 滉・中村潤平・日比野友亮・木村清志. 2025. 三重県におけるハタ科魚類相. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 55:30–48.
- 瀬能 宏. 2013. ハタ科. 中坊徹次(編), 日本産魚類検索全種の同定, 第三版. 東海大学出版会, 秦野. 757–802, 1960–1971.
- 高木基裕・平田智法・平田しおり・中田 親. 2010. えひめ愛南お魚図鑑. 創風社出版, 松山. 250pp.
- 辻 幸一・平松 亘. 1987. 宇和海産魚類目録-II. 南予生物, 2:1–15.
- 吉郷英範. 2018. 広島県から記録されている海産魚類目録. 比和科学博物館研究報告, (59):127–193+5Plates.

(2026年6月25日受付, 2026年6月26日公開)

清水孝昭(e-mail: simizu-t@sky.hi-ho.ne.jp)

(Takaaki Shimizu. 2026. Record of *Diploprion bifasciatum* (Liopropomatidae) from the Seto Inland Sea side of the Sadamisaki Peninsula, Ehime Prefecture. NS Fieldnote, 26016)